

佐世保市市民栄誉賞受賞者

| No. | 表彰年月日       | 受賞者  | 受賞理由   |
|-----|-------------|--|--|
| 1   | 平成17年 1月 7日 | 城島 健司(じょうじま けんじ)氏<br>[現 メジャーリーグ・シアトルマリナーズ所属] | 平成16年夏開催された「アテネオリンピック」野球競技において全日本代表チームの中心選手として活躍し、メダル獲得の立役者となる。また、平成15年度のパ・リーグ最優秀選手に選ばれるなどプロ野球選手として活躍する傍ら、児童養護施設等への訪問や少年野球教室の開催などを通し、市民とりわけ次代を担う子ども達に夢と希望を与え続けている。   |
| 2   | 平成19年 1月11日 | 井上 博明(いのうえ ひろあき)氏<br>[九州文化学園高等学校バレーボール部監督]   | 九文バレーボール部監督として、全国大会で10度優勝に導いており、特に、平成16年には春高バレー、インターハイ、国体の3大会で優勝するという三冠を達成。また、平成18年度には国体の少年女子バレーボールで史上初という3連覇を成し遂げるなど、同部を全国トップレベルのチームに育て上げ、学校名はもとより佐世保市の知名度の向上に貢献している。<br>また、氏は他校の生徒を招いての実技指導、各地の講演会での講師を行うなど、同校の生徒ばかりでなく地域のバレーボール選手の育成に努められている。 |
| 3   | 平成24年8月29日  | 早川 漣(はやかわ れん)氏<br>[長崎県スポーツ専門員 佐世保商業高等学校所属]   | ロンドンオリンピック競技大会アーチェリー女子団体における中心選手として活躍し、団体では日本初となる銅メダル獲得に多大なる貢献をされた。<br>今大会の活躍は、日本のスポーツ界はもとより多くの市民に勇気と感動を与え郷土の誇りとして本市の知名度の向上に大きく貢献し、指導者の立場からも本市アーチェリー競技の普及と発展に努められている。  |